

みんなのページ

便利すぎて置き忘れたもの

原稿を「書く」という行動は私の中ではすでにパソコンのキーを「叩く」という行動に置き換えられている。メールの普及で文章を「書く」ことは増えた一方、ペンを持ち紙に向かうということをしなくなって久しい。様々な漢字に変換する事はうまくなったが、その漢字が書けるのか甚だ自信がない。一体、いつの間にこうなってしまったのだろう。高校に入学が決まった折り、母が買ってくれた赤い万年筆。大人になったような気がして使うのが嬉しくて、どうやったらカッコよくきれいに書けるかノートに向かったものだ。あの万年筆は、何処にやってしまったのだろう。

また携帯電話の普及で電話番号を「覚える」という作業もしなくなった。若い頃は10人分くらい簡単に暗記していたのに…。今では携帯電話が無くなったら、誰とも連絡が取れなくなって途方に迷ってしまう。それに昔はお友達の家に電話をする時はご家族の方にドキドキしながら挨拶したが、今ではその人が出るとわかっているのだから挨拶もそこそこで、すぐに用件に入ってみたりしている。

本当に便利な世の中になったものだと思う反面、様々な事をどこかに置き忘れてしまったのではないかと考えさせられる。『たまには友人に手紙でも書いてみようかな』と思いながら、やはり私はこの原稿をパソコンで入力しているのだった。



(Y.K.)

「松前にも、早く資料館が欲しいところだ」



東温市資料館見学 6/13
(史談会メンバーと共に)



松前町ウォークラリー 5/19
(史跡めぐり)

編集後記

「声を届ける」「思いを伝える」手段は、たくさんあります。直接対話や文章、ネット上での掲載など、様々な手段で自分の思いを伝えていきます。しかしいずれも表現次第で良くも悪くも伝わります。それだけ「表現」には難しい面があります。このレポートも同じです。まずは簡単に読める紙面にするため字数を極力減らしていますが、思いは上手く伝わっていますか？ 皆さんのご意見も聞かせてくださいネ。お待ちしています。

(K.I.)

～会長より一言～



藤岡みどりも頑張っていますが、その活動が皆様に届いているでしょうか。また皆様の声が町政に国政に届いているでしょうか。

自分は政治に関係ないと思いがちですが参加しないと一部の人の考えで体制が決まってしまう。

声を届ける手がかりとして藤岡みどりと話してみませんか。

よろしくお願いします。

大西多美子



1/20 コムズフェスティバル
防災ワークショップ
(防災頭巾作成)

メールアドレス

fujika.midori@gmail.com

☆ブログ・フェイスブックでも
活動内容の一部を公開しています。



藤岡みどりの



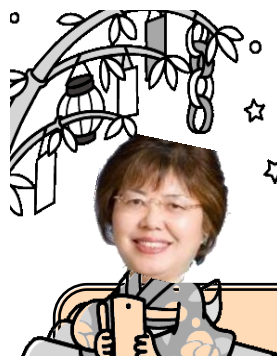
フクワ

レポート



第 11 号

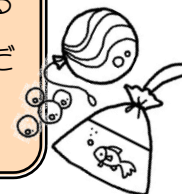
2013.07.15 発行



願い事...

天気予報の梅雨入り宣言の後ずっと晴天が続き、このまま空梅雨で「今年の夏は、渇水で大変」と思っていたら、なんと台風と一緒にまとまった雨がやってきてどうやら水の心配はなさそうだが、今度は猛暑で閉口。でも、もっと心配なのは私たちの暮らしそのものかもしれない。アベノミクスで景気回復、給料下げ止まり…とは、なかなか行かないのが地方の実情。

地方議員の定数や公務員の給料は減らされるのに、国会議員の定数削減は思うように進まない。もうすぐ参院選の結果も出るが、地方の声は確実に届くのかしら。地域主権や地域活性化が叫ばれつつも、源である国の成長戦略がしっかりと軌道に乗ることを祈りつつ、消費税アップだけで年金問題を片付けないように注視していきたい。



「みんなの井戸端会議の場所に」

ここに事務所を開設して、6 年が過ぎました。最初は「藤岡みどりを推薦する会」の本拠地としてみんなが集う活動の場所でしたが、今では地域の人たちはもちろん、町内外のいろんな人が訪れます。

暮らしの事、生活道路の傷み、通学道路の危険箇所、子育ての悩み、介護やごみの問題など…様々な相談やおしゃべりの場になっています。

時にはそのことが町の施策に生かされるヒントになったり、安全な道路になったりと、いろいろな事に発展していきます。

これからも、この場所が皆様にとって気軽に立ち寄れて、おしゃべりや活動の場となるように努めていきます。スタッフと共に…



(月・水・金) AM9:00～PM5:00
(火・木) AM9:00～正午まで

～みどりの一般質問より～

ここが聞きたい!



3月

Q. グループホームなどの防災環境は

A. 町内に3か所の認知症高齢者のグループホームがあります。国で指定した地域密着型施設の災害種別に応じた対策も法改正により、地域の事情に即した基準を定めることができるようになったため安全対策は強化されました。

今後は、各人向けの避難支援プランも予定。

(>-<) 夜間の災害時のスタッフ不足がまだ懸念される

3月

Q. えひめ国体に向けた本格的な取り組みは



A. 鶴吉の町民グラウンドに新たなホッケー場を整備することになっているが、幅が不足するため新たに土地を購入して、人工芝で整備します。既設の体育館は最低限の改修で利用していく予定。

基本的に観客席ロッカー選手控室なども仮設。「おもてなし」の気持ちで地域住民参加型の実行委員会を立ち上げ集客に対応します。

(>-<) 財政面の問題で町の全国イメージまで損なわないように

6月

Q. 女性の管理職登用の推進を

A. 女性の管理職数は2年前と比べ倍増している。女性係長対象の研修も実施、個人の能力に合わせて男女区別なく昇格させたい。

ただ課長補佐級以上の女性は9人だが、うち8人が保育所関係。

今後も男女共同参画推進をする職場として女性管理職登用に努めたい。

(^o^)近い将来の女性課長級以上の登用に期待している



～こんなこと、やってきました！ これからも～

・全国市町村議会特別セミナー

～自治体決算を考える～ (4/25～26)

『決算から予算をみる』というテーマのもと、全国から集まった87人の市町村議員たちと肩を並べ、1泊2日のかなり中身の濃い研修を体験してきた。

元々、決算認定の時期から次年度予算への改善点などの提言が反映できず、その翌年度予算へずれ込むタイムラグの解消に予算委員会の設置や決算審査の時期を再考してもらえたら、今後の議会改革にもつながるのではと考えていた。

今後、組織改革の中で取り組んで頂く方向になってきているので、タイムリーな予算決算審査が期待できそうだ。



～議会活性化勉強会のその後の活動～

昨年の6月末に発足した会も1年が経過し、その間9回の会合を持った。9人のメンバー全員が揃うことは難しかったが、今までの松前町議会の既設条例の学習や議会報告会についての他議会の動向、また定例議会前の議案書の勉強会の場として機能してきた。

今後について話し合った結果、3か月後の9月議会で定例の組織変更があるため、その動向でとりあえず解散ということになった。



・文教常任委員会研修(5/15～16)

広島県の府中市と廿日市市を訪問

目的は、小中一貫校の先進事例の視察。一体型と連携型があるが、視察先は一体型の府中学園と今計画中の建物だった。小・中学生が一緒に学び、集う学校はグラウンドや教室も開放的で、音楽室や技術室などの施設整備もデザインや色使いまで斬新でかなりの予算配備がなされたことが分かった。



今後の松前町では連携型の方向で進むだろうが、既設校舎の充実や保護者や地域、教職員

が一体となった中1ギャップの解消や9年一貫教育のメリットを最大限引き出す工夫が期待されるだろう。



☆西高柳で総合防災訓練を(私は防災士兼カメラマンとして参加) 5/26

今回で2回目となる地域の自主防災会が中心となっていく大がかりな防災訓練。

午後1時の訓練開始の放送を合図に各避難場所から小学校校庭に、避難移動訓練。小学校体育館で受付を済ませ、各訓練場所に移動。

今回は消火、救命処置搬送、救護訓練、猫袋で非常食体験、更に起震車に乗って震度7の体験ができたのでは…



こ、ゴア！ しっかりつかまっていなと…

主な活動記録

1月	☆ 消防出初式 ・ 広報委員会 ・ 防災フォーラム ・ コムズフェスティバル ・ 松前町公民館研究大会
2月	☆ 和楽園組合議会 ・ 地域づくりフォーラム
3月	☆ 3月定例議会 一般質問 ・ 3.11 復興支援フリマ ・ 小中学校卒業式 ・ 若葉保育所卒園式 ・ 白鶴保育園入園式
4月	・ 小中学校入学式 ・ 西高柳運動会 ☆ 義農祭 ・ 全国市町村議会セミナー
5月	・ 勉強会(砥部議会へ) ・ 文教委員会研修(広島) ・ ネットワーク松前総会 ・ ウォークラリー(スポレク) ・ 西高柳 防災訓練
6月	☆ 6月定例議会 ・ 勉強会 ・ 東温市視察(史談会) ・ さんかくの会